

Title	昭和五十一年度修士論文(国史専攻); 卒業論文(国史専攻); 修士論文(東洋史専攻); 卒業論文(東洋史); 修士論文(西洋史専攻); 卒業論文(西洋史専攻); 卒業論文(通信教育部)
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1977
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.48, No.2 (1977. 6) ,p.112(224)- 114(226)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19770600-0113

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

會員 訃報

浅子勝二郎氏は、二月二十五日午前十時十分、気管支肺炎のため渋谷区東四一六一九の自宅で死去された。享年七十二才。昭和四十六年三月に文学部教授を退かれてからは、大学名誉教授として、国史特殊(文化史)を担当出講しておられた。

「史学」掲載論文

古代日本人の世界観についての一考察 史学二十四一
小机の二つの寺 史学二十八一・三・四

山と水

——上代文化の研究に対する一視点としての—— 史学三十一三

「平泉文化圏の問題」

日本文化の研究 史学三十一一・二・四
——その態度のあり方についての一試論—— 史学三十二一三

二つの造像銘札をめぐる 史学三十三一三・四

近世庶民芸術・文化に関する研究 史学三十六一・二・三

——入江長八の作品を中心として——

明治文化史の一頁 史学三十八一・二

鎌倉期における石造美術をめぐる若干の問題 史学三十九一四

「都介野」考 史学四十三一・二

彙報

昭和五十一年度修士論文(国史専攻)

柳田 利夫 キリシタン教会における非会員日本人の役割と性格

卒業論文(国史専攻)

松本 健 鶴見川流域における横穴墓の様相

高木左貴子 多摩川流域における畿内型古墳の成立について

針谷 浩一 近世宝篋印塔の性格に関する一試論

浜野 一重 倭の五王とその時代

司城 晴美 日本古代の婚姻制について

安岡扶佐子 古代の天皇制について

安田 茂雄 大化改新について二・三の考察

星野喜代子 飛鳥寺

市川 陽子 平安貴族の密教信仰

日高 まき 唐招提寺金堂の仏像

——技法・作風の相違について——

木村 淳司 壬申の乱に関する二・三の考察

小佐 愛子 兼好——動乱期の文芸人——

松下真理子 源氏物語の成立過程

中村 昌代 平清盛と嚴島信仰

西村 稔 聖徳太子と斑鳩

大類 里江 薬師寺と上代彫刻

谷奥 康郎 古代蝦夷の政治的社会

後藤 正治 院政々権における院庁発給文書の性格について

持丸 初栄 頼朝死後における北条時政の果たした役割について

世羅 芳昭 房総里見氏について

深見 和代 やぐら考

和田 真樹 近江菅浦荘について

大橋まち子 山城国一揆について

野村 裕子 日本近世におけるキリシタン信仰の性格について

三輪 哲也 町人文化上昇期における町人精神

岡田 昭二 高家・吉良上野介義央

小島 浩子 伊能忠敬の研究史

菊池 伸美 高野長英と蘭学

埴田 治子 史料にみる近世村落の一考察

上野 明子 近世後期における南関東農村の一考察

光山 正隆 宝暦天明期の江戸下層民の意識について

飯田 真弘 民衆意識の中に潜む反逆の思想

——中山みきの半生——

神山 久恵 明治社会主義者とキリスト教

山本フミノ 河上肇の社会主義観

山口 国久 真木和泉守の討幕策

田中 秀雄 松陰の思想における価値概念について

高木 不二 横井小楠における国家構想の展開

修士論文(東洋史専攻)

荒川 研 潘周楨の改良思想について

藤井 俊明 両漢交替期の諸反乱と豪族層の動向

白川 知多 清朝咸豊年間広西省の天地会反乱

——特に大成国について——

卒業論文(東洋史)

薮 淳一 西周青銅容器銘文の基礎的研究

太田 純子 対馬の舶載青銅器

押毛 康人 子産の外交成果の背景について

野口 周一 元代における塩の専売についての若干の考察

橘 智行 郷紳についての一考察

中村 勝 宋教仁の生涯

鄭 宗 佳 丁若鏞の牧民思想について

裏田 真穂 十九世紀後半インドネシアにおける学校教育

——カルティニの出現まで——

福原 倫 バリ・ヒンドゥーにおける重層構造

藤岡 靖洋 Baschi 画の成立

渡部 徹 バジヤンとパウル

——宗教歌にみるバクティ運動の展開——

山岸 親史 イスラム法の起源について

李 翠 華 中央アジアにおけるトルコ族の口承文学

宮原 和子 ブハラのイスラム化

海老沢 研 イランにおけるモスク建築の展開

大場 正昭 イスマーイル派についての一考察

齊藤恵美子 「スヤーサト・ナーメ」にみられるニザーム・

アル・ムルクの政治方策

梅林 和子 マムルーク期下のダマスカス、

特にウラマーの果たした役割について

小山いづみ トルコのカラギョズについて

山下 久穂 シオニズムの研究

修士論文(西洋史専攻)

神戸 信和 イギリス革命とアイルランド

——不在地主の形成を中心として——

神田 順司 カール・マルクスと意識の哲学

ドイツ社会思想史研究序説

夏目 誠 世紀転換期アメリカの反帝国主義運動

小城 和明 フランス右翼運動史

——アクシオンフランセーズを中心として——

大橋 洋子 ヘンリーII世治下のユダヤ人

卒業論文(西洋史専攻)

大庭 優 メルロポンティの歴史哲学について

川添 淳一 シュペングラールの思想

本山 明 カール・ポパーの社会科学・人文科学方法論

明楽佐和子 中世イングランド都市の発生と

その自治権獲得過程について

伊藤 信子 一三八一年の農民一揆とロンドン

荒江 周三 ヒトラーの人物像

飯塚 承子 フランクリンとアメリカ独立革命

山崎 博史 フィリップ王戦争とニューイングランド

原 信芳 ドイツ抵抗運動に関する一考察

北田 秋子 ビスマルクとドイツ・ナショナリズム

森本 敬子 ヴァイマル共和制末期の大統領政府について

佐藤 隆之 第一インターナショナルの性格に関する一考察

成田 芳子 「共産党宣言」と史的唯物論に関する一考察

卒業論文(通信教育部)

大月 玲子 備前焼の歴史地理学的考察

池田美知子 第二次世界大戦下のフランス

——レジスタンス運動——

鴨原 国雄 ヘレニズム時代におけるユダヤ人社会の動向

鷹巢 晃 「法橋宗達」「対青」印水墨画について

——その宗達水墨画中に占める位置を中心に——

平田マチ子 関西と関東の風土の違い

加藤 洋子 近世ヨーロッパの魔女裁判

中井 元子 織田信長——その系譜と政権について

谷津百合子 現代社会における官僚制